

競 技 注 意 事 項

1、本大会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2、スタートについて

第162条5については非適応とする。但し、(a)(b)(c)の不適切行為が繰り返し行われたり悪質なものは第162条5・第145条2を適応とする。

3、場内司令について

選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。

また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。

4、練習について

練習は補助競技場または室内練習場を使用する。

ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、役員の指示に従って行うものとする。
(フィールド競技は招集完了時刻以前には、フィールド内に入ることはできない)

監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させること。

① メイン競技場での練習は、競技会当日開場時間から競技開始40分前まで使用可とする。

② 区割りは次のとおりとする

- ・ 1～2レーン:中・長距離・競歩
- ・ 3～6レーン:(ホームストレート):短距離
- ・ 7～9レーン:(ホームストレート):100mハードル・110mハードル
- ・ 3～7レーン:(第1曲走路～バックストレート及び第2曲走路):短距離・リレー
- ・ 8～9レーン:(第1曲走路～バックストレート及び第2曲走路):400mハードル

③ 補助競技場(サブトラック)使用上の注意事項

ア 練習に必要な用具は、主催者が準備するが、持参した個人の用具も使用できる。

イ 荷物等は、個人が責任を持ち管理する。

ウ 補助競技場での練習区割りは以下のとおりとする。

トラックの使用は原則として以下のとおりとする。

- ・ 1～2レーン:中・長距離・競歩
- ・ 3～6レーン:(ホームストレート):短距離
- ・ 7～8レーン:(ホームストレート):100mハードル・110mハードル
- ・ 3～6レーン:(第1曲走路～バックストレート及び第2曲走路):短距離・リレー
- ・ 7～8レーン:(第1曲走路～バックストレート及び第2曲走路):400mハードル

エ ハードル種目及びリレー競技が実施される日は、それぞれ優先レーンを増やし練習場の確保をする。ただし、混雑時のハードル移動は(インターバルの変更)は不可とし、練習場係の指示に従うこと。

オ 跳躍種目については、練習場係の指示に従うこと。

カ 逆走・トーイング練習・メディシンボールを使った練習は禁止する。

④ 室内練習場での練習は、走る方向は一方通行とし、危険防止に努める。

⑤ 練習は各個人が指定された場所で行い、事故防止には万全を期す。なお、練習中に発生した疾病・傷害についての応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。

5、競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクピンの数は11本以内とし、長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。

6、招集について

- ①第4コーナー場外に設置する。
- ②各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。
招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。
- ③選手は、招集完了5分前には、必ず選手招集所内で待機し、競技者係より最終点呼を受け、ナンバーカードの点検・確認を受けること。
- ④招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ⑤代理人による招集は一切認めない。また出場選手以外の招集所への立入りを禁止する。
- ⑥2種目同時に兼ねて出場する競技者は、事前に本人が「2種目同時出場届」に必要事項を記入し、第1種目の点呼前に競技者係に提出すること。
- ⑦その種目にやむを得ず棄権するときは、その旨を招集所に申し出ること。
- ⑧ リレーのオーダーは、大会プログラム巻末の用紙を招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- ⑨ リレーオーダー用紙、二種目同時出場届、棄権届が不足する場合は総務受付で必要枚数を受け取ること。

7、準決勝・決勝について

- ①県外選手はオープン参加とする。トラック種目は予選レースのみ、フィールド種目は3回試技とする。（高さの競技はこの限りではない）
- ②男400m、男800mについて準決勝は行わず、決勝は2組タイムレースで行う。
なお、3000mSCはエントリー記録により番組編成を行う。
決勝1組目（下位記録9位～16位、18位～33位）
決勝2組目（上位記録1位～8位、1位～17位）とする。
- ③男女100m・200mは準決勝を行う。

8、表彰について

- ①表彰については、決勝上位3位までの入賞者に行う。
- ②入賞者は成績発表後、直ちに正面ロビーに来ること。

9、競技場への入退場は、すべて係員の誘導指示を受けること。

10、ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に確実に付けること。

跳躍種目はこの限りでない。

11、レーン順、試技順について

- ①トラック競技の予選におけるレーン順及びフィールド競技試技順はプログラム記載の順とする。
- ②レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。

12、走高跳・棒高跳について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり、優勝が決まるまでは下の通りとする。

	種別	練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	1m60, 1m80, 2m00	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	3cm
	女子	1m30, 1m45, 1m60	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m60	3cm
棒高跳	男子	3m30, 4m20, 5m00	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	4m30	4m40	10cm
	女子	2m30, 3m00, 3m40	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	3m10	10cm

13、三段跳の踏み切り位置は次の通りとする。男子12m、女子8m

14、やりの検定は、競技開始80分前から60分前までに第2ゲート付近の器具庫前にて行う。

15、**チーム（学校）控え場所及びスタンドの清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に
行なうこと。**

各チーム（学校）で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

16、その他

①和歌山県登録者で、今大会6位までの入賞者は近畿選手権大会9月1日(土)・2日(日)
(場所：京都・西京極陸上競技場)の出場資格を得る。

7月8日(日)競技終了後までに表彰待機場所付近において近畿選手権大会申し込みの諸用紙に必要事項を記入し、参加料とともに提出すること。

② 下記種目には制限タイムを設定し、最後の周回に入っている走者以外は制限時間でレースを打ち切る。

制限時間

男子 10000m 37分00秒

男子・女子 5000mW 35分00秒

③ 選手のアナウンスは以下の通りを行う。

【トラック競技】

予選・・・欠場者のレーンのみ紹介する。(プログラム記載の通りとする。)

準決勝・決勝・・・選手紹介を行う。

【フィールド競技】

決勝・・・選手紹介は電光掲示板に表示する。

トップ8決定後、試技順と選手紹介を行う。(選手を並べて紹介は、競技進行状況を確認し行う場合もある。)

④ 個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。

⑤ 応急処置を要する場合、及びその他健康上の問題が生じた場合は競技役員に申し出て救護室を利用することができる。

競技場内での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。